

令和6年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立碧山小学校

●全国学力学習状況調査(小学校第6学年)

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	2ー(2)【高山さんのメモ】書き表し方を説明したのとして、適切なものを選択する。	91.9	<p>●全体的に自分の考えや読み取ったことを表現しようとする意欲の高まりが見られた。</p> <p>●設問2二では、正答率が全国平均よりも8ポイント以上高かった。約3分の2の児童が、事実と感想、意見を区別して書く力が発揮しており、基本的な表現力が備わっていることを示している。また、この問いでの無解答率が非常に低いことから、ほとんどの児童が問題に取り組み、何らかの形で自分の考えを表現しようとしていた。日頃から、授業での学びを自分の言葉でまとめたり、振り返りを書いたりする機会を多く設けており、指導の効果がある程度出ていると考えられる。</p>	<p>●設問 2二「目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかをみる」問題では正答率が全国平均と比べて高かった。一方で、約35%の児童は、事実や感想とを明確に区別して書くことが難しいと感じている可能性が考えられる。</p> <p><児童の書く力を向上させるための手立て></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語をはじめ理科や社会などの教科指導の中で、事実と意見、感想を意識して書く機会を増やす。 ・児童一人ひとりの理解度に応じた丁寧な指導や支援を行う。 ・相手意識をもって表現する機会増やしたり、児童同士で交流して内容を確認したりするなど、児童が意欲的に表現できる機会を増やす。 ・今年度から本格的に取り組んでいる「ノートまとめ」(年9回)の学習を継続し、テーマに沿って調べたことをまとめたり、自分の考えを書いたりする力を育てていく。 <p>●全国平均よりも特に正答率が低かったのは、主語と述語との関係を捉えたり、人物像を想像し感想を書いたりするなど「読むこと」に関する設問であった。文章の内容や構造を理解するために主語と述語を捉えて丁寧に読んだり、目的に応じて自分の考えをまとめたり、深めたりする言語活動を意図的に増やしていくなど、児童の学力を向上につながる学習を今後も行っていく。</p>
	2二 【高山さんの文章】の空欄に入る内容を【高山さんの取材メモ】を基にして書く。(60字以上100字以内)	64.9		
	3二(2)【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に着目したのかについて説明したのとして、適切なものを選択する。	66.2		
	3三【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く。	56.8		
算数	3(1)作成途中の直方体の見取り図について、辺として正しいものを選ぶ。	91.9	<p>●算数全体の正答率は67%で、全国の正答率よりも3.6ポイント高かった。その中でも特に「図形の性質」についての知識・技能を習得している児童が多いことが分かった。</p> <p>●設問3(1)「直方体の見取り図について理解し、描くことができるかどうかをみる問題」での正答率が91.9%という結果が出た。この数字は、立体図形に対する理解が高いことを示している。積み木に触れたり、展開図を自分で描いて直方体を作ったりするなど、授業の中で具体的な教材や実物を用いた指導が、児童の理解を深める助けになったと考えられる。</p>	<p>●全体的に数量の関係を捉えたり、グラフから読み取ったりしたことから考察し、それを言葉や数を用いて記述する設問での正答率が低いことが分かった。特に4(3)「道のりが等しい場合の速さについて時間を基に判断、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる」設問では、一番正答率が低かった。また、5(3)の記述で答える設問では、未回答率が17.6%であった。日頃から、自分の考えを式や数を用いて表現したり、グラフから読み取った事実を用いて説明したりする機会を多く設定することで児童の表現力を高めていきたい。</p> <p>●1(1)「問題場面の数量の関係を捉え、式に表すかどうかをみる」設問では、東京都の正答率よりも10ポイント低く、問題場面を理解することはできても、それを抽象的な数式に表すことができない児童が多いことが分かった。そこで、授業の中で、問題の場面を確実に理解できるよう、大事な言葉や数字を確認してから自力解決させたり、問題文を数直線等の図に表す等、意図的に指導を行う必要がある。また、ICTを活用し簡単な問題の場面を自力で式に表現していく機会を多く設けたり、自ら問題を作って友達と解き合うなど、児童の自信につながるような授業展開も心がけていきたい。</p>
	1(1)問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ	56.8		
	4(3)家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが早いかを判断し、そのわけを書く	39.2		
	5(3)折れ線グラフから開花日の月について3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く	45.9		